

なぜ栗東ホースパークを作るのか？

現状・課題

- ✓ 栗東市には、全世代の方の憩いの場、子供たちが遊べるような大きな公園が少ない。
- ✓ 栗東市には栗東トレーニング・センターが立地しており、馬のまちとして知られているが、気軽に馬と触れ合える場がない。
- ✓ 当該地域には、災害時に救援活動の拠点として機能する防災公園がない。
- ✓ 競走馬は毎年約7000頭が引退している。その多くは5歳前後で引退するが、競走馬の寿命は25～30年であり、引退後のキャリアの方が長い。

公園整備の効果

- ✓ 全世代の方の憩いの場、子供たちが安心・安全に過ごせる環境の整備。
- ✓ 馬と触れ合える機会を創出することで、「馬のまち」としてのブランドイメージの向上、シビックプライドの醸成、交流人口の増加。
- ✓ 救援活動等の拠点となる防災公園の整備による、地域防災力の向上。
- ✓ 「引退競走馬のセカンドキャリア」という馬産業界の命題に「馬のまち」として貢献するもの。(公園整備費39億円に対し、JRAより14.6億円の支援。)